



指導班だより

学力向上に向けて ～ Let's try! ～

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果から、大河原教育事務所管内と全国の正答率の
かい離が大きかった各教科の設問について、指導班で分析しました。今回は小学校国語の問題
を見ていきます。中学校でも参考にいただければと思います。

小学校 国語A⑤

「文の中における主語と述語との関係などに注意して文を正しく書くこと」
(大河原管内正答率24.3% / 全国正答率35.5%)

5 大山さんは、春休みの出来事について文章を書いたあと、読み返して、……部と……部との
つながりが合っていない文があることに気づきました。次の「春休みの出来事の一部」をよく読んで、
あとの(問い)に答えましょう。

【春休みの出来事の一部】 文のはじめにある数字は、その文の番号を示しています。

① ぼくは、校庭で野球の練習を毎日がんばりました。その努力は見事に実りま
した。② ぼくたちのチームは、地区大会で優勝したのです。③ 今年の春休みは、
とてもじゆう実したものとなりました。でも、反省していることもあります。
④ 反省点は、用具の手入れをあまりしませんでした。これからは、練習だけでは
なく、用具の手入れもしっかりがんばりたいと思います。

(問い) ……部と……部とのつながりが合っていない文の番号を、①から④までの中から
一つ選んで書きましょう。また、……部はそのままにして、文の意味が変わらない
ように、選んだ文を正しく書き直しましょう。

※解答は、解答用紙に書きましょう。
選んだ文の番号……
書き直した一文

つながらない
文はどれ?

●管内の多くの児童
が、正解できなかったのはなぜでしょう
か。

●児童が、このよう
な間違いをしないよう
にするためには、
どのような授業をす
ればよいでしょう
か。

○宮城県の誤答傾向（正解は④）

多くの児童が、本来つながりが合っている②、③の文を
「合っていない文」として誤答しました。誤答の要因として

	宮城県	全国
②と解答	14.2%	11.8%
③と解答	22.7%	17.8%

- ①主語と述語の関係「だれが(何が)」「だれは(何は)～どうだ」の理解が不十分であること
 - ②主語の前に「～の」があることで、主語の部分を見付けられないこと
 - ③主語と述語の関係を踏まえた文の書き直しができないこと
- などが考えられます。
- ◇ 文章を比較する問いの形式に慣れておらず、問題の意味を理解できないこと
も誤答の要因として考えられます。あなたの学校はどうでしたか？



平成27年度にも同様の問題が出されています。(※裏面参照)

平成27年度全国学力・学習状況調査
 小学校 国語A 2設問一 文の中における主語を捉える

2
次の1と2の問いに答えましょう。

— 1と2の文の主語として適切なものを、アからエまでの中からそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましょう。

1 ア 降っていた雨が、急にやんだ。
 イ
 ウ
 エ

2 ア ぼくの妹の誕生日は、五月二日だ。
 イ
 ウ
 エ

平成27年度の全国学力学習状況調査でも同様の問題が出題されています。全国正答率は、53.1%です。宮城県正答率とのかい離は5.1でした。文の中の主語を捉えることに課題があり、指導の充実が求められました。

主語は、
 1 イ「雨が」
 2 ウ「誕生日は」
 ですが、「ぼくの」「妹の」を選択する児童もあり、平成27年度も、文の中の主語を捉えることに課題が見られました。



授業改善のポイント

① 「みやぎ単元問題ライブラリー」を活用する
 「主語と述語」「文の組み立て」などの問題を解いて復習ができます。

② 誤答を示し、主語と述語のつながりを考えた文章を正しく書くように指導する

声を出して読むと分かるね。主語を「困ったことは」から「わたしは」に書き直すこともできるんだね。



めあて 正しく伝わる文章に書き直そう

・ 図工の時間に絵を描くことになっていました。どのように描くか構図は決めていました。困ったことは、絵の具の準備をしませんでした。忘れ物が無いように前の日にしっかりと確かめたいと思います。

— をどのように書き直せばいいでしょう。

例 困ったことは、絵の具の準備をしなかったことです。

例 わたしは、絵の具の準備をしませんでした。

誤答を示し考えさせることで文章をよく見る習慣が身に付きます。